



第七回卒業証書授与式 ～ 新たな旅立ち ～

3月7日(土)に、3月にしては冷たい雨が降る天候でしたが、多くのご来賓と保護者の皆様が見守る中、3年間の締め括りとなる卒業証書授与式が、喜びと感動とそして一抹の寂しさが混ざり合った雰囲気の中で行われました。

私は一人ひとりの卒業生の顔をしっかりと見つめながら、卒業証書を渡していったのですが、おめでとうとかける声に、にっこりと微笑んだり、あるいははにかんだような表情を浮かべたり、緊張で硬い表情で受け取ったり、卒業生の皆さんの個性がよく現れていました。

今回は、式で話した「校長のことば」を掲載します。平凡な内容ですが、生徒が将来、幸せになるには、学校はどうあるべきかを考えている中で、まとめたものです。

〔前半の一部を省略〕

社会を生き抜いていく上で絶対に必要なことからお話しします。命を大事にすることです。自分の命も他人の命も同じように大事にできるようになって欲しいと思います。



幼い頃から何度も聞いた話かもしれませんが、でもそれは「人生の基本」であるからだと思います。皆さんが幸せになるために、欠かすことはできないものです。

交通安全の例が分かりやすいと思います。自転車に乗っている場面を思い浮かべてください。自転車を運転していて、見通しの悪い交差点やT字路で一旦停止を必ず行っていますか？車が来ていても無茶な横断をすることはありませんか？どうでしょうか。これぐらい、たぶん大丈夫だろうと高をくくっている人はいないでしょうか。自分の命を運に任せる様な事はしてほしくありません。

同じように、自転車を運転して、見通しの悪い交差点で確認もせずスピードも緩めず曲がったらどうなるでしょう。歩行者に接触したり、衝突したりすることは十分にありえます。怪我をさせることになるでしょうし、もっと重大な事態になる可能性もあります。

大事なことは、自分の命、他人の命を危険にさらさないようにする想像力です。こうしたらどうなるだろうと想像する力が大事です。命を大事にするためには、ちょっと先の

未来を想像する力が必要です。

次にお話しするのは、法律や規則を守ることです。これも、あまりにも聞き慣れた言葉かもしれませんが、しかし、社会人として職業人として、この意識は絶対に必要にして不可欠です。これも人生の基本です。



法律を破る犯罪、自分の命や他人の命を奪う交通事故等の多くは「これくらいやっても大丈夫だろう」「きっとなんとかなる」といった規則に対する自分勝手な判断、甘い考えから起っている場合があると思います。

法律や規則をしっかりと受け止める意識を持ち、自分の感情を上手くコントロールしてください。そのことが、平和で安心できる生活、幸せな生活につながります。

そういう気持ちを学んでほしいために、本校でも10月から頭髪や服装の指導を強めました。生徒の皆さんに規則を守る気持ちを身につけてほしいと願ったからです。

法律だけでなく学校や就職後の会社、組織やグループの規則を重んじてしっかりと守る気持ちを身につけてください。幸せな生活に近づくためには絶対に必要です。

そして最後に、社会で気持ちよく生きていくために必要なものです。それは思いやりです。思いやりは持っていけば素晴らしいものではなく、誰もが自分のために社会のために、絶対持っていなければならないものです。

他人と共に、少しでも幸せに、そして快適に過ごすために、思いやりが必要です。規則や法律ではありませんが、思いやりはお互いが気持ちよく生きていくために大事にされなくてははいけません。

互いに気持ちよく生きるために思いやりに基づくマナーを身につけてください。そういう気持ちを持った人は、周りの人から快く受け入れられるはずで、幸せな人生を歩むために是非心がけてください。

幸せへの道をたどっていく時、自分や他人の命を大事にする想像力を持つこと、法律や規則を守る意識を心に刻むこと、思いやりやマナーを心がけ気持ちよく生きていくことを忘れないようにしてください。

〔以後省略〕

校長 遠藤 誠